

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
栄養教育実習 Teaching practice		2年	通年	担当教員より指示する。
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	実験実習		選択 (教職課程必修 : 栄養教諭2種免許)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
栄養教諭論、栄養教育実習事前事後指導				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
栄養士資格取得に必要な科目ならびに栄養教諭2種免許取得に必要な科目。				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスのワー	電話番号・メールアドレス	
高木道代	福祉棟2階 研究室	火・水・木・金曜日 9時 ～16時 授業時間を除く	授業中に指示します	
授業の概要				
本教育実習は栄養教諭免許状を取得するための必修科目である。小学校または中学校において、栄養教諭の教育実習を実地に体験する。これまで学習してきた知識、技能、態度に基づいて、大学では得られない栄養教諭としての実際を実習校で集中的に学習する。実習については、それぞれの実習校の指導に従い、給食実務管理、授業参観、授業実習を体験する。教科の指導や教科以外の活動にも積極的に参加し、栄養教諭としての能力の向上を図る。				
授業の到達目標				
①学校現場での「食に関する指導」や「学校給食管理」に関わる実体験を通して、学校における食育指導や栄養教諭に関する理解や認識を一層深められるようにする。 ②食に関する指導」や「学校給食管理」に関わる実習を通して、実践的指導力を獲得するとともに、自らの研究課題について自覚し、取り組むことができるようにする。				
授業の方法				
小学校または中学校における栄養教諭の教育実習 ・実習校への事前訪問および実習オリエンテーション ・実習校における観察、参加実習、体験講義実習など				
学習の成果				
①学校現場での「食に関する指導」や「学校給食管理」に関わる実体験を通して、学校における食育指導や栄養教諭に関する理解や認識を一層深めるとともに、栄養教諭への一層の意思を形成することができる。 ②「食に関する指導」や「学校給食管理」に関わる実習を通して、実践的指導力を獲得するとともに、自らの研究課題について自覚し、取り組むことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	〈指導教諭等からの説明〉			
第2回目	・教職の専門性 ・児童及び生徒の理解と指導 ・教職の倫理、校務分掌の理解、服務			
第3回目	・学級経営、学年経営、学校経営			
第4回目	・教育課程と指導計画			
第5回目	〈児童及び生徒への個別的な相談、指導の実習〉			
第6回目	・指導、相談の場の参観、補助等			

第7回目	〈児童及び生徒への教科・特別活動等における指導の実習〉
第8回目	・学級活動及び給食の時間における指導の参観、補助
第9回目	・教科等における教科担当等と連携した指導の参観、補助
第10回目	・給食放送指導、配膳指導、後片付け指導の参観、補助
第11回目	・児童生徒集会、委員会活動、クラブ活動における指導の参観、補助
第12回目	・指導計画案、指導案の立案作成、教材研究等
第13回目	〈食に関する指導の連携・調整〉
第14回目	・校内における連携・調整(学級担任、研究授業の企画立案、校内研修等)の参観、補助
第15回目	・家庭・地域との連携・調整の参観、補助等

成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート		
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容(態度含む)		
その他	100%	実習校からの評価、実習日誌、事前事後指導などを鑑みて総合評価
教科書と参考図書		
「教育実習の手引き」佐野短期大学 *必要に応じて随時指示		
履修上の心得・ルール		
実習校における実習は教師(教諭)としての見識、学識、態度が要求されるので、十分な教材研究等の準備をはじめと真摯な態度で臨むこと。児童及び生徒の模範となるよう言動、服装、言葉づかい等々の全ての面において細心の注意を怠らないこと。		